



岐阜県立岐阜盲学校



所在地 岐阜市北野町70番地1
 郵便番号 500-8807
 TEL 058-262-1255・1271
 FAX 058-262-2854
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/gifumou-s/>
 e-mail c27360@gifu-net.ed.jp
 校長 服部 秀明
 交通案内 JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から岐阜バス
 北税務署前下車 徒歩5分
 設置年月日 小学部 明治27年3月9日
 中学部 明治27年3月9日
 高等部 明治27年3月9日
 専攻科 昭和25年4月1日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科(3年課程)	計
児童生徒数		4	1	8	6	19
学級数		3	1	4	3	11

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する視覚障がい者

本年度学校教育の重点

- (1) キャリア発達の視点を踏まえ、心の教育を推進する。
- (2) グローバルな視点に立ち、視覚障がい教育の不易と流行を踏まえた教育活動を推進する。
- (3) 地域に開かれた学校づくりを推進し、共生社会の実現に資する。

学校の特徴

- (1) 小学部・中学部及び高等部普通科の通常の学級では、通常の小中学校、高等学校に準じた教育を行い、重複障がい学級では、視覚障がいとその他の障がいを併せ有する児童生徒の特性等を踏まえた多様な教育を行っている。また、高等部保健医療科、専攻科医療科では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格取得のための職業教育を行っている。
- (2) MS・MSJリーダーズ活動の一環として、月に1回程度あいさつ運動を行ったり、理療への理解・啓発を目的に高齢者施設利用者や地域住民、県内企業や関係機関等に対してボランティア(マッサージ)を行ったりする等、共生社会の実現に資する活動を展開し、地域社会等との交流を深めている。
- (3) 当校の公式ホームページやSNS(YouTube、Instagram)、各種リーフレット等による情報発信により、視覚障がい教育や盲学校に対する理解を進めるための広報・啓発活動を積極的に行っている。
- (4) 「見え方の相談支援センター」として、県内の各地区での「目に関する相談会」の開催、乳幼児教室(アイアイ教室)、支援訪問等、様々な相談や支援等へのニーズに応じることで視覚障がい教育の拠点校としての役割を積極的に果たしている。また、令和7年度より弱視通級指導教室を開始している。通級による指導・支援が必要な児童生徒の調査を継続して行い、市町村教育委員会と連携した指導体制づくりに取り組んでいる。



岐阜県立岐阜聾学校



所在地 岐阜市加納西丸町1丁目74番地
 〒 500-8488
 TEL 058-271-3700
 FAX 058-271-3705
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/gifurou-s/>
 e-mail c27361@gifu-net.ed.jp
 校長 長瀬 さゆり
 交通案内 JR岐阜駅 南口から 徒歩20分
 岐阜バス 加納附属小学校前下車 徒歩3分
 設置年月日 幼稚部 昭和31年4月1日
 小学部 昭和 6年4月1日
 中学部 昭和12年4月1日
 高等部 昭和23年4月1日

設置部・学科・幼児児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科(2年制)	計
幼児児童生徒数	7	19	19	7	0	52
学 級 数	3	7	5	3	0	18

対象となる幼児児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する聴覚障がい者

本年度学校教育の重点

- (1) コミュニケーション能力と基礎学力の向上を図る。
- (2) 専門性や指導力の向上を目指す。
- (3) 満足感・達成感、自己肯定感の高揚を図る。
- (4) 発達段階に応じた道徳教育の充実を図る。
- (5) 一人一人の進路実現に向けて支援する。
- (6) センターの機能の充実を図る。
- (7) 防災教育を推進する。
- (8) ICTの活用を推進する。

学校の特徴

- (1) 昭和6年に岐阜県ろうあ学校として設立され、県内唯一の聾学校として、教員の専門性を図り、聴覚障がい教育を推進している。
- (2) 幼稚部・小学部・中学部・高等部（全日制の課程普通科・専攻科）が設置されており、個の実態や障がいの特性に応じた系統的な指導や支援を行っている。
- (3) 近隣の学校や居住地域の学校、老人ホーム等との交流を積極的に行っている。
- (4) パソコン等の視覚を主とする情報媒体を適切に活用し、基礎学力の定着を図るとともに情報社会に対応した情報活用能力を育てている。
- (5) 遠隔地等のため通学が困難な幼児児童生徒には寄宿舎があり、集団生活の中で、規則正しい生活習慣や自主的な生活態度を培っている。
- (6) 「乳幼児教室」を開設し、0歳からの早期から長期的な視点に立った適切な支援を継続的に行っている。
- (7) 聴覚に障がいのある乳幼児児童生徒とその保護者や担当教員の相談に応じ、育児や学習・生活全般の情報提供や助言をする「支援相談」や聴覚障がいに関わる「理解啓発」活動を行っている。



岐阜県立長良特別支援学校



所在地 岐阜市長良 1 2 3 7 番地 1
 〒 5 0 2 - 0 0 7 1
 TEL 0 5 8 - 2 3 3 - 7 4 1 8
 FAX 0 5 8 - 2 3 3 - 7 9 7 8
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/nagara-sns/c27373@gifu-net.ed.jp>
 e-mail
 校 長 井原 誠
 交通案内 岐阜バス おぶさ墨俣線 長良医療センター
 下車 徒歩 2 分
 岐阜バス 松籟加納線 長良医療センター口
 下車 徒歩 7 分
 設置年月日 小学部 昭和53年 4 月 1 日
 中学部 昭和53年 4 月 1 日
 高等部 昭和57年 4 月 1 日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5 月 1 日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		1 6 (8)	1 5 (2)	1 4 (3)		4 5 (1 3)
学 級 数		7	6	8		2 1

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) 児童生徒を守りきる安心・安全な体制の整備・推進
- (2) 人とかかわりを通して、豊かな表現力、自己肯定感を育てる教育の推進
- (3) 確かな学力と生きる力を身に付けることができる病弱教育の充実
- (4) 病弱教育の理解啓発の推進

学校の特徴

- (1) 小学部、中学部及び高等部があり、各部には通常の学級と重複障がい学級を設置、また訪問教育を実施している。児童生徒の実態に応じた教育課程の編成を図るとともに、「個別の指導計画」に基づき、一人一人のニーズに応じたきめ細やかな教育活動を行っている。
- (2) 日常的な健康管理や医療的ケアにより、児童生徒の健康保持を支援しながら、一人一人の将来を見通しキャリア発達の課題に応じた学習活動を推進し、病気や障がいによる困難を主体的に改善する力や自ら学び・考える力を育成している。
- (3) I C T 機器の活用等新しい交流のスタイルを工夫しながら、交流籍交流や共同学習、学校行事の取組を通して、豊かなコミュニケーション能力や人権感覚の向上を図るとともに、社会とかかわる力を育成している。
- (4) 様々な表現活動を通してドリームアート展等地域へ発信するとともに、児童生徒の豊かな表現、自己肯定感を育成するように支援している。
- (5) 病弱特別支援学校のコア・スクールとして、特別支援学校・小中学校・高等学校等へ病弱教育の情報を発信し、外部支援を積極的に行っている。



岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校



所在地 岐阜市則武 1 8 1 6 番地 1
 〒 5 0 2 - 0 9 3 1
 TEL 0 5 8 - 2 3 1 - 6 5 0 0
 FAX 0 5 8 - 2 3 2 - 4 2 3 3
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/kibougaoka-sns/>
 e-mail c27369@gifu-net.ed.jp
 校 長 吉田 孝弘
 交通案内 岐阜バス 忠節長良線
 希望が丘こども医療福祉センター前下車
 設置年月日 小学部 昭和 5 4 年 4 月 1 日
 中学部 昭和 5 4 年 4 月 1 日
 高等部 平成 2 8 年 4 月 1 日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		2 3	1 1	1 8		5 2
学 級 数		1 0	4	7		2 1

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する肢体不自由者

本年度学校教育の重点

- (1) 安全・安心と健康維持を第一とし、健康なからだと豊かな心をもつ子どもを育てる。
- (2) 一人一人の発達段階に応じた学習活動の推進に努め、自分の思いをのびのびと表現できる子どもを育てる。
- (3) 自発的な動きと意欲を高める指導を工夫し、仲間と生き生きと活動できる子どもを育てる。

学校の特徴

- (1) 肢体不自由の特性や児童生徒の実態に対応した教育課程を編成し、ティーム・ティーチングのよさを生かしながら一人一人のニーズに応じたきめ細かな授業をしている。
- (2) 毎日の的確な健康管理と医療的ケアの実施により、安全・安心な学校体制の確立を図っている。
- (3) 隣接の医療型障がい児入所施設の希望が丘こども医療福祉センターを始め、家庭・地域・医療・福祉等と密接な連携を図り、自立と社会参加に向けた指導をしている。
- (4) 外部専門家との連携やコア・ティーチャーの取組を生かし、教員の肢体不自由教育に関する専門性や指導力の向上を図っている。
- (5) 肢体不自由教育のコア・スクールとして、積極的に情報発信や相談活動を実施している。
- (6) 交流・交流や学校間交流を積極的に進め、特別支援教育の理解啓発に努め、インクルーシブ教育の推進を図っている。



岐阜県立岐阜本巣特別支援学校



所在地 岐阜市西秋沢 2 丁目 3 6 3 番地 1
 〒 5 0 1 - 1 1 8 4
 TEL 0 5 8 - 2 3 9 - 9 7 1 2
 FAX 0 5 8 - 2 9 3 - 9 0 2 2
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/gifumotosu-sns/>
 e-mail c27398@gifu-net.ed.jp
 校 長 牧村 貴志
 交通案内 岐阜バス 黒野線 西秋沢下車
 設置年月日 小学部 平成 2 0 年 4 月 1 日
 中学部 平成 2 0 年 4 月 1 日
 高等部 平成 2 0 年 4 月 1 日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		8 7 (2)	6 7 (1)	7 9 (0)		2 3 3 (3)
学 級 数		2 2	1 9	1 4		5 5

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

◎全職員が一丸となって協力し、三障がい併置の特別支援学校としての特色ある学校づくりを進める。

- (1) 個別の教育支援計画に基づいたきめ細かな教育を推進する。
- (2) 安心して登校できる教育環境の確立に努める。
- (3) 交流及び共同学習を積極的に進め、社会性豊かな人間性を育む教育を推進する。
- (4) 卒業後の進路に向けた移行支援を確実に進める学校づくりに努める。
- (5) 岐阜北部地域の特別支援教育のセンターとしての役割を推進する。

学校の特色

- (1) 知的障がい、肢体不自由、病弱のそれぞれの障がいに応じた教育課程を編成し、さらに一人一人の実態やニーズに応じたきめ細かな教育を実施している。
- (2) 学校行事は、様々な障がい種を越えて学部または全校で実施している。
- (3) 地域との交流や交流籍交流(小・中学部)、本巣小学校、岐阜農林高等学校、岐阜城北高等学校、本巣松陽高等学校との学校間交流及び共同学習を積極的に進め、社会性や豊かな心を育てる教育を実施している。
- (4) 喫茶『café 和 ーなごみー』の営業、近隣駅の清掃活動等、地域に根ざした学習活動を展開している。
- (5) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士と連携した教育を実施している。
- (6) 地域に在住する障がい児及び保護者に対し、相談支援活動を行っている。



岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校



所在地 岐阜市芥見南山三丁目 1 1 番 1
 〒 5 0 1 - 3 1 3 3
 TEL 0 5 8 - 2 4 3 - 0 7 1 0
 FAX 0 5 8 - 2 4 3 - 0 7 1 1
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/seiryu-asns/>
 e-mail c27383@gifu-net.ed.jp
 校 長 後藤 周太郎
 交通案内 岐阜バス 岐阜清流高等特別支援学校前下車
 徒歩 3 分
 岐阜バス 長山下車 徒歩 1 5 分
 設置年月日 平成 2 9 年 4 月 1 日

設置部・学科・生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
生 徒 数				1 3 0		1 3 0
学 級 数				1 7		1 7

対象となる生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者のうち、障がいの程度が軽度の生徒

本年度学校教育の重点

【学校教育目標】

高い志をもち、専門的な学びをとおして企業就労による社会自立ができ、地域や社会に貢献できる人間性豊かな生徒を育成する。

- ①夢や目標の実現に向け、様々な活動に挑戦し、自ら選択・判断できる生徒
- ②専門的な学びをとおして、社会人・職業人として社会自立できる生徒
- ③豊かな人間関係を築き、進んで地域や社会に貢献できる生徒

学校の特徴（スクールポリシー）

- 1 アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）
 - （1）将来、働く人および働き続ける人を目指す生徒
 - （2）本校へ自力通学できる生徒
 - （3）知的障がい軽度で、療育手帳を取得している生徒
- 2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施に関する方針）
 - （1）専門コースの学びを中心として社会的および職業的自立に必要な意欲・態度や能力を育てます。
 - （2）一人一人が抱える課題に対して、個別の障がいの状態や特性に対応した自立活動を行います。
 - （3）喫茶サービス、校外実習、企業実習、外部講師の活用をとおして、社会と繋がる学校を目指します。
- 3 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
 - （1）自らの力で考え判断し、困難や課題に挑戦する生徒（自立）
 - （2）集団生活における人間関係を形成し、他者を思いやる心をもった生徒（共生）
 - （3）働くために必要な挨拶・言葉遣い・礼儀・規律等を身に付け、社会の一員として活躍する生徒（自己実現）



岐阜県立羽島特別支援学校



所在地 羽島市正木町大浦 2 3 0 番地 1
 〒 5 0 1 - 6 2 2 4
 TEL 0 5 8 - 3 9 2 - 8 1 8 1
 FAX 0 5 8 - 3 9 2 - 8 1 8 5
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/hashima-sns/>
 e-mail c27354@gifu-net.ed.jp
 校 長 廣瀬 雅行
 交通案内 名鉄竹鼻線 不破一色駅下車 徒歩 1 5 分
 羽島市コミュニティバス（赤）羽島特別支援
 学校東口バス停下車 徒歩 3 分
 設置年月日 小学部 平成 2 8 年 4 月 1 日
 中学部 平成 2 8 年 4 月 1 日
 高等部 平成 2 8 年 4 月 1 日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

（5月1日現在）

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		9 0 （1）	6 3 （0）	9 5 （1）		2 4 8 （2）
学 級 数		2 2	1 7	1 7		5 6

（ ）は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

児童生徒の人権の尊重と個々の教育的ニーズに応じた教育の推進により、一人一人の可能性を最大限に伸ばして、夢や希望の実現、自立と社会参加のために次の 3 つの力を育成する。

- ・命や体を大切に守り、健康に生活できる力
- ・向上心と自信をもち、物事に主体的に取り組む力
- ・豊かな人間関係を築き、心豊かに生活できる力

【小学部】基本的な生活習慣を身に付け、生き生きと活動する児童の育成

【中学部】家庭生活、職業生活に必要な基礎的・基本的能力を身に付け、意欲的に活動する生徒の育成

【高等部】自立と社会参加に必要な基本的な力を身に付け、主体的に活動できる生徒の育成

学校の特徴

- （1）学校は羽島市東部にあり、福祉施設や小中学校等が近くにある地域であり、地域住民との交流を行っている。
- （2）職業教育用の各種特別教室（食品加工室、被服室、窯業室等）が充実しており、高等部では喫茶サービス班、食品加工班、工芸班（木工部門、窯業部門）、縫製班、ビルクリーニング班、農業班の合計 6 つの作業班で作業学習を行っている。
- （3）喫茶サービスが行える厨房を完備しており、「ロータスカフェ」として喫茶サービスの授業を行いながら、地域の方々との交流を行っている。また、作業製品の販売活動や地域の施設での清掃作業を通して、地域とのつながりを広げている。
- （4）近隣学校との交流を行うとともに、センター的機能の一環として、地域の保育園・幼稚園、小学校、中学校、高等学校への相談支援活動を行っている。また、「ひだまり相談会」を実施し、児童生徒や保護者、教員を対象に相談活動を行っている。



岐阜県立揖斐特別支援学校



所在地 揖斐郡揖斐川町谷汲深坂 2 7 6 0 番地
〒 5 0 1 - 1 3 1 3
TEL 0 5 8 5 - 5 6 - 0 0 5 0
FAX 0 5 8 5 - 5 5 - 2 0 5 5
ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/ibi-sns/>
e-mail c27333@gifu-net.ed.jp
校 長 立川 麻里子
交通案内 揖斐川町ふれあいバス
揖斐特別支援学校前下車 徒歩 1 分
設置年月日 小学部 平成 2 1 年 4 月 1 日
中学部 平成 2 1 年 4 月 1 日
高等部 平成 2 1 年 4 月 1 日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		3 4 (0)	1 6 (0)	2 9 (0)		7 9 (0)
学 級 数		9	5	7		2 1

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) 個に応じた自己実現 …キャリア教育の視点を踏まえた「個別的教育支援計画」の作成と活用
- (2) 魅力ある授業づくり … I C T 機器を活用した授業作りと実践〈機器に慣れ親しむ〉
- (3) 安心できる教育環境づくり …安心・安全な教育環境の整備と防災教育の推進

学校の特徴

- (1) 平成 2 1 年 4 月に開校した小学部・中学部・高等部の 3 学部からなる全校児童生徒 8 1 名の学校です。一人一人が「いきいき・のびのび・かがやく」授業づくりを行っています。
- (2) 地域社会に開かれた学校、地域に根付いた学校を目指し、近隣の諸学校と交流及び共同学習を行い、地域の行事への参加や、ボランティア参加等を進めています。
- (3) 西濃北部地域の特別支援教育のセンター的機能の拠点として、地域の学校や保護者、地域の方々等に積極的に相談活動や支援活動、研修会等を行っています。



岐阜県立大垣特別支援学校



所在地 大垣市西大外羽1丁目227番地1
〒 503-0963
TEL 0584-89-4816 (代表)
FAX 0584-89-4817
ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/ogaki-sns/>
e-mail c27371@gifu-net.ed.jp
校長 守屋 朋伸
交通案内 養老鉄道 友江駅下車 徒歩15分
大外羽駅下車 徒歩10分
設置年月日 小学部 昭和49年4月1日
中学部 昭和49年4月1日
高等部 昭和55年2月1日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		151 (0)	57 (0)	129 (0)		337 (0)
学級数		34	15	23		72

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

自ら学び自ら考えるなどの「生きる力」の育成を目指し、基礎的・基本的な内容の定着と自立と社会参加に向けた教育を充実させる。

- (1) 一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実
- (2) 連携・協働を大切にした教育活動の充実
- (3) 安心・安全な教育環境の整備と教育の推進

学校の特徴

- (1) 知的障がい、肢体不自由、病弱のそれぞれの障がいに応じた教育課程を編成し、さらに児童生徒一人一人の実態やニーズに応じたきめ細やかな教育を実施している。
- (2) 児童生徒は、通学区域内を10台で運行しているスクールバスや電車等を利用して通学している。
- (3) 自立活動の時間に個別で取り組む課題を設定する教育課程を編成したり、集団編制・指導法を工夫したりしながら教育実践の充実を図っている。
- (4) 地域資源を活用して児童生徒の実態に応じたキャリア教育を行っており、一人一人の自己実現と共に、職業的自立や社会的自立を目指している。
- (5) 地域社会や近隣の小学校、中学校、高等学校との交流や共同学習、また、児童生徒の交流籍校での交流及び共同学習を進めている。また、地域支援活動・相談活動の充実を図る中、障がいのある児童生徒の適正な就学に努めている。
- (6) 特別支援教育のセンターとして、積極的に地域の学校や保護者、地域の方々等に向けた相談活動や支援活動を行っている。また、相談室「きらり」を設置し、保護者や教員を対象に、相談活動を行っている。
- (7) 学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「学校運営協議会制度」を取り入れ、当校の教育の理解啓発や学校及び地域の防災教育の推進に努めている。



岐阜県立西濃高等特別支援学校



所在地 大垣市西大外羽1丁目181番地1
 〒 503-0963
 TEL 0584-89-4848
 FAX 0584-89-7835
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/seino-asns/c27385@gifu-net.ed.jp>
 e-mail
 校長 高木 靖
 交通案内 養老鉄道友江駅下車 徒歩15分
 設置年月日 平成30年4月1日

設置部・学科・生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
生徒数				71		71
学級数				9		9

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者のうち、障がいの程度が軽度の生徒

本年度学校教育の重点

企業就労による社会自立に向け、高い志をもち、専門性の高い知識・技能を身に付け、地域や社会に貢献できる人間性豊かな生徒を育成する。

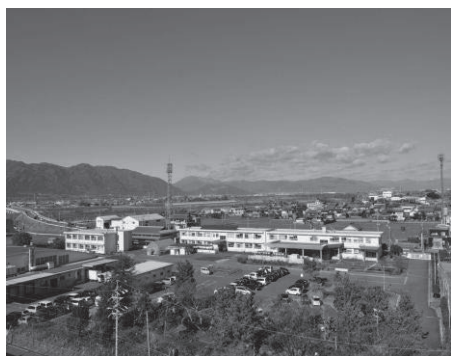
- (1) 夢や目標の実現に向け、様々な活動に挑戦し、自ら選択・判断できる生徒
- (2) 専門性の高い知識・技能及び態度を身に付け、社会人・職業人として自立できる生徒
- (3) 豊かな人間関係を築き、進んで地域や社会に貢献できる生徒

学校の特徴

- (1) 職業的自立に必要な知識や技能の習得を目指し、普通教科、必須専門教科（喫茶サービス・ビジネス情報・ロジスティックス）に加えて、選択専門教科（工業コース・食品コース・福祉コース・環境コース）を設定している。
- (2) 卒業後に人と関わりながら自立した生活をするため、宿泊学習を行ったり、校内で地域の方に喫茶サービスを提供したりしながら、生活能力やコミュニケーション能力を育成している。
- (3) 就労に必要な態度や技能を実践的に身に付けるため、企業と連携した職業教育を実施している。1・2年では職業選択の幅を広げるための職場体験や企業内実習、現場実習等を行い、3年では自己選択した企業への就職を目指す現場実習を行う。
- (4) 3年間で7回以上の企業内実習、現場実習を通し、毎年95%以上の生徒が一般企業への就職を実現している。令和7年度卒業生の就職率は96%、就職者の約70%の生徒が正社員での入社を実現することができた。（企業名等の詳細は学校ホームページに掲載）
- (5) 3年生の時期から地域の支援機関と連携し、卒業後の丁寧なサポートに繋げ、働きやすい環境作り、困りごとの相談等、離職率の減少へ対応している。



岐阜県立海津特別支援学校



所在地 海津市平田町今尾 3 8 8 5 番地 2
 〒 5 0 3 - 0 3 2 1
 TEL 0 5 8 4 - 6 6 - 2 8 8 8
 FAX 0 5 8 4 - 6 5 - 1 0 3 1
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/kaizu-sns/>
 e-mail c27399@gifu-net.ed.jp
 校 長 井上 真典
 交通案内 名阪近鉄バス海津線 今尾バス停下車 徒歩 5 分
 海津市コミュニティバス
 今尾バス停下車 徒歩 1 5 分
 設置年月日 小学部 平成 2 0 年 4 月 1 日
 中学部 平成 2 0 年 4 月 1 日
 高等部 平成 2 0 年 4 月 1 日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		1 7 (0)	1 2 (0)	1 3 (0)		4 2 (0)
学 級 数		7	4	4		1 5

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

児童生徒がもつ可能性を最大限に伸ばすことができるように

- (1) 児童生徒一人一人の障がいの状況や、発達段階等に応じたきめ細かい教育を行う。
- (2) 仲間と共にたくましく、明るく生きる力を育む。
- (3) 一人一人が社会自立に必要な基礎的・基本的な知識・技能を培う。

学校の特徴

- (1) 開校 1 9 年目を迎えた、知的障がい・肢体不自由・病弱の障がいのいずれか、又はそれらを併せ有する児童生徒を対象とした総合化した特別支援学校である。
- (2) 地域に密着した学校を目指し、地元の銀行で児童生徒が制作した作品を展示したり、学校拡大新聞を海津庁舎等 4 会場に展示したりしている。また、高等部の作業学習で作った製品を、道の駅などで販売する活動を行い、本校の情報発信を行っている。
- (3) 特別支援教育のセンター的機能として、積極的に地域の学校や保護者、地域の方々などに相談活動や支援活動、研修会等を行っている。



岐阜県立郡上特別支援学校



↑ 大和校舎 ↓ 那比校舎



	【大和校舎】	【那比校舎】
所在地	郡上市大和町栗巣32番地1	郡上市八幡町那比3068番地
〒	501-4603	501-4237
TEL	0575-88-3020	0575-63-0020
FAX	0575-88-3180	0575-63-2340
ホームページ	https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/gujyou-sns/	
e-mail	c27396@gifu-net.ed.jp	
校長	林 哲治	
交通案内	長良川鉄道徳永駅下車 タクシー利用	長良川鉄道郡上八幡駅下車 タクシー利用
設置年月日	小学部 17年4月1日 中学部 17年4月1日 高等部 17年4月1日（平成21年4月1日移転）	

設置部・学科・児童生徒数・学級数

（5月1日現在）

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		8（0）	13（0）	30（0）		51（0）
学級数		4	5	6		15

（ ）は訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者

本年度学校教育の重点

一人一人の可能性を最大限に伸ばし、「自立する力」、「豊かな人間性」、「健やかな体」を育て、夢や目標の実現に向けて生き生きと活動する児童生徒を育成する。

- ① 夢や目標の実現に向け、様々な活動に主体的に取り組むことができる児童生徒
- ② 豊かな人間関係を築き、進んで地域や社会の活動に参加できる児童生徒
- ③ 健康の増進と体力の向上に努め、生き生きと活動できる児童生徒

学校の特色

- （1）児童生徒の教育的ニーズに基づいた教育やキャリア発達を促す教育により、一人一人の可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加に向けた力を育成している。
- （2）学校経営に関するビジョンや目標を保護者や地域住民等と共有し、互いに連携・協働しながら教育の活性化及び地域と共にある学校づくりを推進している。
- （3）全教職員が、安全に対する危機管理意識を高め、校内環境を整え、家庭や地域、関係機関等との連携を深め、大規模災害時、学校事故等に適応できる危機管理体制の構築に取り組んでいる。



岐阜県立関特別支援学校



所在地 関市桐ヶ丘一丁目 2 番地
 〒 5 0 1 - 3 9 3 8
 TEL 0 5 7 5 - 2 2 - 4 2 3 8
 FAX 0 5 7 5 - 2 2 - 4 2 3 9
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/seki-sns/>
 e-mail c27370@gifu-net.ed.jp
 校 長 遠藤 衣代
 交通案内 名鉄各務原線 三柿野駅下車 岐阜バス倉知
 関商工前下車 徒歩 3 分
 設置年月日 小学部 昭和 4 1 年 3 月 2 2 日
 中学部 昭和 4 1 年 3 月 2 2 日
 高等部 昭和 4 3 年 3 月 3 0 日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5 月 1 日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		7 (1)	3 (0)	9 (0)		1 9 (1)
学 級 数		3	1	5		9

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

- ◇ 児童生徒の「命」と「人権」と「学ぶ権利」を守り抜き、安心・安全で愛情に満ちあふれた楽しい学校にする。
- ◇ 全教職員が、「チーム関特支」として「明るく・楽しく・元気」に協働し、めざす児童生徒の姿を実現する活力ある学校にする。

- (1) 児童生徒が安心して登校できる環境を維持するとともに、各行事、日々の授業の在り方について工夫を重ね、教育活動の充実を図る。
- (2) 学習指導要領の理解を深め、それぞれの教育課程における教育内容の充実を図る。
- (3) 「教えることは学ぶこと」の意識を涵養し教職員一人一人の授業力や専門性の向上を図る。
- (4) 保護者や地域へ当校の取組を発信するとともに、地域の関係機関との連携を深め、肢体不自由や病弱のある児童生徒の教育ニーズを的確に把握し、当校とのネットワークづくりを行い、新入生の掘り起こしを図る。
- (5) 働き方改革プラン 2 0 2 6 に基づく、教職員のライフワークバランスの充実を図る。

学校の特徴

- (1) 個に応じた指導の推進：I C T 機器等の活用や個に応じた食形態による給食指導などを実施。
- (2) 安全・安心な教育：看護師による医療的ケア、摂食指導や救急法等の教職員研修、いじめ防止対策や情報モラルの指導、ヒヤリハット週間の実施など安全・安心な教育環境への取組を実施。
- (3) 関係機関との連携：小児科相談や理学療法士等による相談活動、地域連携支援会議や移行支援会議等の実施。
- (4) センターの機能の推進：地域センターとして、支援相談、教材教具の貸出、各種研修会等の実施。



岐阜県立中濃特別支援学校



所在地 関市桐ヶ丘二丁目3番地
 〒 501-3938
 TEL 0575-24-1773
 FAX 0575-24-6265
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/cyuno-sns/>
 e-mail c27374@gifu-net.ed.jp
 校長 田中 久仁子
 交通案内 岐阜バス 上之保関商工線 せき東山から
 関商工前バス停下車 徒歩10分
 設置年月日 小学部 昭和53年4月1日
 中学部 昭和53年4月1日
 高等部 平成 3年4月1日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		48	33	60		141
学級数		11	8	10		29

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者

本年度学校教育の重点

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- 児童生徒が主体的に参加する集団活動の充実
- 児童生徒が自他の安全を守ることができる健康及び安全教育の充実
- 児童生徒自らの目標設定と自己評価を引き出す授業の充実

学校の特徴

- (1) 児童生徒の約20%は、隣接する障害児入所施設「岐阜県立ひまわりの丘第一学園」より通学しており、施設と密接な連携を取りながら指導・支援を行っている。
- (2) 小学部では、日常生活の指導、生活単元学習等、中学部・高等部では生活単元学習、作業学習等を通して、児童生徒一人一人に応じた自立や社会参加を目指した指導・支援を行っている。
- (3) 児童生徒の実態・状態に応じた地域社会との交流活動を展開するとともに、近隣の関係機関や地域団体との交流活動を推進することで、児童生徒の学びの機会を広げ、地域とのつながりを深めることを目指している。
- (4) 地域支援センターを設置し、来校相談、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校への訪問支援や教材・教具の貸出し並びに当校研修会への参加の呼び掛けなど、特別支援教育における地域のセンター的役割を積極的に果たしている。



岐阜県立可茂特別支援学校



所在地 美濃加茂市牧野 2 0 0 7 番地 1
 〒 5 0 5 - 0 0 1 6
 TEL 0 5 7 4 - 2 8 - 3 1 5 0
 FAX 0 5 7 4 - 2 8 - 3 1 5 1
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/kamo-sns/>
 e-mail c27376@gifu-net.ed.jp
 校 長 保 義博
 交通案内 東濃鉄道バス八百津線
 可茂特別支援学校前下車
 設置年月日 小学部 平成 2 3 年 4 月 1 日
 中学部 平成 2 3 年 4 月 1 日
 高等部 平成 2 3 年 4 月 1 日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		1 2 5 (3)	8 3 (0)	1 3 9 (0)		3 4 7 (3)
学 級 数		3 1	2 0	2 6		7 7

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) 児童生徒の教育的ニーズやキャリア形成に基づいたきめ細かな教育により、一人一人の可能性を最大限に伸ばし、生活で活用できる実践力を育む。
- (2) 学校経営に関する目標やビジョンを保護者や地域住民等と共有し、互いに連携・協働しながら教育の活性化及び地域に開かれた学校づくりを推進する。
- (3) 全教職員が、学校内外の環境、安全に対する危機管理意識を高め、家庭や地域社会、関係機関等との連携を深め、大規模災害時等に適応できる危機管理体制を構築する。

学校の特色

- (1) 可茂地域における初めての特別支援学校として平成 2 3 年 4 月に新設開校され、令和 4 年 1 2 月に第 2 東棟が増築された。
- (2) 個に応じた段階的なキャリア形成の推進と社会生活に活かすことができる力の育成に取り組んでいる。
- (3) 地域に根ざした特別支援学校を目指し、ふるさと教育や地域資源の活用と連動した授業づくりや、地元企業との協力による職業体験の充実に取り組んでいる。
- (4) 外国籍の児童生徒の在籍が多いため、外国人児童生徒適応指導員(ポルトガル語、タガログ語)が常勤し、言語の支援に対応している。



岐阜県立東濃特別支援学校



所在地 土岐市泉町河合根ノ上 1127番10
 〒 509-5101
 TEL 0572-55-4821
 FAX 0572-55-4829
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/tono-sns/>
 e-mail c27381@gifu-net.ed.jp
 校長 下野 誠司
 交通案内 J R 中央線土岐市駅下車
 東鉄バス 東濃フロンティア高校線
 特別支援学校前下車 徒歩1分
 設置年月日 小学部 昭和55年4月1日
 中学部 昭和55年4月1日
 高等部 昭和59年4月1日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		81 (1)	59 (0)	102 (0)		242 (1)
学級数		24	15	21		60

() は、訪問指導対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

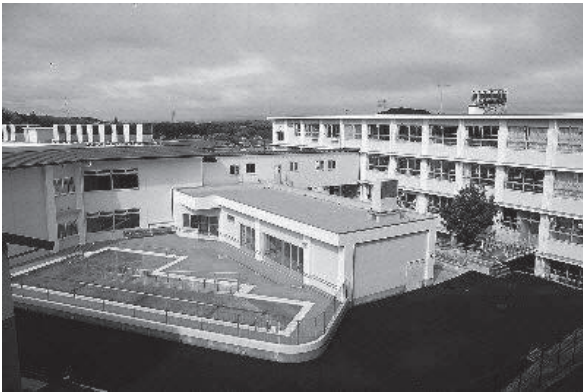
- (1) 自立と社会参加に向けた確かな力を育成【実践力】
 - ・一人一人の能力や個性を最大限伸ばし、社会生活で実践できる力を育成する。
 - ・一人一人の能力や特性を把握して、個別の指導計画を作成し、全職員の共通理解のもとに継続的な個別指導に努める。
 - ・特別支援教育における指導力・実践力向上のために、障がいについての理解とその指導法について、計画的・継続的な研修に努める。
- (2) 地域で生活していく基盤を構築【地域協働】
 - ・コミュニティースクール（学校運営協議会）を推進し、地域の小中高大学、地元自治会、関係機関、地元企業等と協働する。
 - ・地域で生活する基盤の構築を目指し、学校資源や地域資源等を効果的に活用、地域と共に創る教育に努める。
- (3) 命を守り抜く教育を推進【安心安全】
 - ・危機管理体制の構築と児童・生徒の安全管理の充実に努める。
 - ・学校内外における災害・事故、感染症等に対する危機管理の確立を図り、児童・生徒一人一人の安全に努める。

学校の特徴

- (1) 余暇活動の充実を目指して、全校で毎日朝読書に取り組んでいる。
- (2) 全校で土粘土の造形活動に取り組み、学校祭で学習の成果や作品を発表している。
- (3) 共生社会の実現を目指し、交流籍交流や校種間交流、高等学校との共同学習や地域の団体との交流活動を積極的に推進している。



岐阜県立恵那特別支援学校



所在地 恵那市岩村町 1 3 3 番地 3
 〒 5 0 9 - 7 4 0 3
 TEL 0 5 7 3 - 4 3 - 4 8 5 7
 FAX 0 5 7 3 - 4 3 - 4 8 5 8
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/ena-sns/>
 e-mail c27372@gifu-net.ed.jp
 校 長 三島 祥江
 交通案内 J R 中央線恵那駅から
 明知鉄道岩村駅下車 徒歩 1 5 分
 設置年月日 小学部 昭和 4 9 年 4 月 1 日
 中学部 昭和 4 9 年 4 月 1 日
 高等部 平成 2 0 年 4 月 1 日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		5 1 (0)	3 4 (0)	5 7 (0)		1 4 2 (0)
学 級 数		1 6	9	1 1		3 6

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

＜校訓＞ 健 (すこやかに) いたわり合い、励まし合い、学び輝く

- (1) 「個別の教育支援計画」の作成・活用を通して、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、家庭や地域社会、医療、福祉等関係諸機関との連携の下、長期的な視点に立った教育的支援を行う。
- (2) 総合化された特別支援学校として児童生徒の疾病や障がいの状態や発達段階・特性等や一人一人の状況に応じた支援を行うとともに、地域のセンター的機能を担う。

学校の特徴

- (1) ふるさと教育実践校として地域資源を活用した体験的な学習や地域の方々との交流を推進し、地域で生活していく力や働く力を培い、自立と社会参加を目指す取組を推進している。
- (2) 交流籍を活かした交流籍交流や、学校間の交流及び共同学習を積極的に推進し、社会性や豊かな人間性の育成を図っている。
- (3) 東濃東部地域を中心とした学校等や関係諸機関と連携協働を図りながら、センター的機能として訪問支援、研修支援等の職員派遣や、障がいのある幼児児童生徒の適正な就学に向けての教育相談に積極的に応じている。



岐阜県立下呂特別支援学校



所在地 下呂市小川432番地1
 〒 509-2203
 TEL 0576-24-1016
 FAX 0576-24-1018
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/gero-sns/>
 e-mail c27377@gifu-net.ed.jp
 校長 熊崎 礼子
 交通案内 JR下呂駅下車 タクシー利用
 設置年月日 小学部 平成25年4月1日
 中学部 平成25年4月1日
 高等部 平成25年4月1日

(平成21年4月飛騨特別支援学校下呂分校 高等部の開校)

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		17 (0)	14 (0)	21 (0)		52 (0)
学級数		7	4	5		16

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

一人一人の障がいの状態や特性に応じた教育活動を通して、個々のもてる力（個性）を高め、生きる力を育む

- (1) 基本的な生活習慣を身に付け、生き生きと生活する力の育成
- (2) 人との適切な関わり方を身に付け、自分らしく意欲的に生活する力の育成
- (3) 自分の良さと可能性を最大限に発揮し、社会の一員として自立し、参加する力の育成

学校の特徴

- (1) 社会人として生活自立、社会自立、職業自立するために必要な知識、技能、態度の育成に努めている。
- (2) 居住地や地域の一員として、各種行事において太鼓の演奏を行うなど、地域と連携した活動を通して交流および共同学習やふるさと教育に努めている。
- (3) 飛騨南部地区の特別支援教育の拠点として、関係諸機関と連携を図りながら、研修、相談、卒業後の支援などを行い、センター的機能の推進を図っている。



岐阜県立飛騨特別支援学校



所在地 高山市山田町 8 3 1 番地 4 4
 〒 5 0 6 - 0 0 5 8
 TEL 0 5 7 7 - 3 4 - 7 1 2 2
 FAX 0 5 7 7 - 3 4 - 6 8 1 3
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/hida-sns/>
 e-mail c27375@gifu-net.ed.jp
 校 長 太田 浩司
 交通案内 高山濃飛バスセンター 高山駅横からのらマイカー 西線右回り
 やまゆり学園口 下車
 設置年月日 小学部 昭和 5 4 年 4 月 1 日
 中学部 昭和 5 4 年 4 月 1 日
 高等部 平成 2 年 4 月 1 日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		3 3 (1)	3 2 (2)	6 6 (0)		1 3 1 (3)
学 級 数		8	9	1 1		2 8

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者

本年度学校教育の重点

「ひとりだちのできる子」の育成（自立と社会参加の力を育てる）

* 児童生徒一人一人の障がいの特性に応じた、きめ細やかな支援や指導をとおして、個々の可能性を最大限に引き出すことを目指し、自立と社会参加の力を育てる。

- (1) 「生活自立」 ◇ 基本的な生活習慣の確立
 - ◇ 基礎体力の向上
 - ◇ 基礎学力の定着
- (2) 「社会自立」 ◇ 情緒のコントロール
 - ◇ コミュニケーションスキルの獲得
 - ◇ 規範意識や危険回避能力の育成
- (3) 「職業自立」 ◇ 自己理解と行動の調整
 - ◇ 働くことの意義や役割の理解
 - ◇ 職業に対する理解や実地的な知識・技能・態度の習得

学校の特徴

- (1) 隣接する高等学校の生徒や地域のボランティアの方等との交流を通して、様々な人との関わり方を学び、コミュニケーションの拡大を図っている。
- (2) 専門性向上の一助として、専門家による講座や研修会を実施している。また、教材教具展の開催を通じて、当校の教育実践を地域に還元する取組を行っている。
- (3) 幼児教室や幼稚園・保育園・小・中・高等学校への訪問支援を実施し、障がいのある子どもの子育てや支援方法、就学に向けての相談活動を行っている。
- (4) 聴覚障がい支援専任教員を配置し、聴覚障がいに関わる研修会や相談会、訪問支援、幼児教室を実施している。



岐阜県立飛騨特別支援学校高山日赤分校



所在地 高山市天満町3丁目41番地1
 〒 506-0025
 TEL 0577-34-3637
 FAX 0577-34-3829
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/hida-bsns/>
 e-mail c27375b@gifu-net.ed.jp
 校長 太田 浩司
 交通案内 JR高山駅下車 徒歩10分
 設置年月日 小学部 昭和54年4月1日
 中学部 昭和54年4月1日
 高等部 平成28年4月1日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		7	5	2		14
学級数		3	3	1		7

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

「主体的に生きる力を育てる ～ 気づく、考える、動く ～」

＊病気や肢体不自由のある児童生徒一人一人に応じた、きめ細かな支援や指導をとおして、個々の可能性を最大限に引き出すことを目指し、関係機関と連携を図りながら、主体的に生きるための力を育成する。

- (1) 医療との連携を図り、安心安全な環境を整え、児童生徒の実態に応じた教育支援を行い、健康的な生活を営む力を育てる。
- (2) 自分と仲間を大切にし、思いを表出しながらよりよい人間関係を築く力を育てる。
- (3) 地域や関係機関と連携して体験的に学ぶ機会を作り、自分らしさを生かして社会の中で生きる力を育てる。

学校の特徴

- (1) 少人数の学校であるが、集団での活動を確保するために、一人一人に役割をもたせた集会活動や部を超えた縦割りでのグルーピングを工夫して授業を行っている。
- (2) 学校の立地条件を利用した校外での学習、webを活用した交流、地域施設での作品展示等を積極的に取り入れ、地域社会の人々と関わる中で、生活体験を広げ、社会性を培うことに努めている。
- (3) 高山赤十字病院の医師やPT等と連携を図りながら、一人一人の病状や障がいの状態に応じた、適切な支援を行っている。
- (4) 特別支援学校のセンター的機能として、講演会や幼児体験教室の開催、教材教具の貸し出し、地域の学校等への相談支援を行っている。



岐阜県立飛騨吉城特別支援学校



所在地 飛騨市古川町片原町8番127
 〒 509-4222
 TEL 0577-73-3600
 FAX 0577-73-7330
 ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/hidayosiki-sns/>
 e-mail c27382@gifu-net.ed.jp
 校長 長瀬 朋彦
 交通案内 JR飛騨古川駅下車 徒歩5分
 設置年月日 小学部 平成25年4月1日
 中学部 平成25年4月1日
 高等部 平成25年4月1日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		10 (0)	7 (0)	13 (0)		30 (0)
学級数		5	4	4		13

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) 一人一人の教育的ニーズに応じて、個々の可能性を最大限に発揮できる教育的支援をします。
- (2) 市内の中心部に設立された立地条件を生かし、地域の教育的資源を活用した体験的な学習を実施します。
- (3) 小学校と敷地を共有する利点を活用した交流活動を進めます。
- (4) 安心して、学校生活を楽しむことができる環境作りを進め、周りとのかかわりの中で児童生徒一人一人の自己表現を促します。
- (5) 心身ともに健やかに学校生活を送るための取組や安全な学校づくりを推進します。
- (6) 一人一人が、自己実現に向けて、能力、特性に応じた主体的な進路選択、進路決定ができる環境を作ります。

学校の特色

- (1) 一人一人の状況に応じ「地域で育ち、学び、共に生きる」ことを目指して、授業づくりを行っています。
- (2) 地域に開かれた学校、地域の方と共に教育活動を行うことを目指し、隣にある小学校や近隣の学校と交流および共同学習を行い、地域行事への参加や、地域貢献活動を行っています。
- (3) 飛騨北部地域の特別支援学校のセンター的な立場で、地域の学校や、地域の方々と連携して教育活動を行っています。



岐阜市立岐阜特別支援学校



所在地 岐阜市小西郷3丁目120番地2
 〒 501-1176
 TEL 058-239-2821
 FAX 058-234-0906
 ホームページ <https://gifu-city.schoolcms.net/gifutokushi/>
 e-mail gifutokushi@sne.gifu-gif.ed.jp
 校長 鷺見 佐知
 交通案内 岐阜バス 西郷線岐阜特別支援学校前下車
 設置年月日 小学部 昭和38年4月1日
 中学部 昭和38年4月1日
 高等部 昭和55年4月1日

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		112	48	103		263
学級数		23	10	17		50

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者

本年度学校教育の重点

- (1) 「自立」を学校の教育目標に、個別のニーズに応じた教育の推進
- (2) 卒業後を見据えた系統的・発展的なキャリア教育
- (3) コミュニティスクールとして、地域とともに生き、ともに育つ、学校づくり

学校の特徴

- (1) 「自立」の教育目標に向かい、全職員が人権感覚豊かに健康でたくましい児童生徒の育成に努めている。
- (2) 自立への基礎を図る繰り返しの学びや、社会人になるための意図的な指導を行う中で、児童生徒一人一人が願いやあこがれをもって主体的に活動できるように努めている。
- (3) 岐阜市の特別支援教育の拠点として地域の学校や保護者等に対して専門的な相談に応じるなど、地域のセンター的な機能の充実に努めている。
- (4) 児童生徒が居住地や地域の一員として生活できるように交流籍校や地域の学校・各種団体等との交流の充実に努めている。



各務原市立かかみがはら支援学校



所在地 各務原市鶴沼羽場町2丁目3番地1
 〒 509-0135
 TEL 058-372-7320
 FAX 058-372-7322
 ホームページ <http://edu-kakamigahara.com/k-shien/>
 e-mail kakashien@edu-kakamigahara.com
 校長 兒玉 哲也
 交通案内 名鉄各務原線 羽場駅下車 徒歩10分
 設置年月日 高等部 昭和61年4月1日
 小学部 令和7年4月1日
 中学部 令和7年4月1日

設置部・学科・生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		76 (0)	37 (0)	76 (0)		189 (0)
学級数		19	10	15		44

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点 「 踏み出す 」

開校から一年が経ち、児童生徒・職員ともに新環境に慣れ、安心できる学校基盤が整った。今年度はこれを土台に、地域とのつながりを生かした特色ある学校づくりを本格化させる。地域に開かれた学びを通して、在学中から卒業後までの豊かな生活につなげる学校を目指す。

- (1) 授業力の向上に踏み出す ～学び合いを通じた授業力の向上と個に応じた教育の実現～
- (2) 安心安全な環境整備に踏み出す ～防災体制と医療的ケアを充実させ、安全な学校環境の確立～
- (3) 地域に踏み出す ～地域資源を活用した相互に支え合う関係の構築～

学校の特徴

令和7年4月に移転開校し、今年度で2年目を迎える市立特別支援学校です。前身は、昭和61年開校の市立各務原特別支援学校（知的障がい対象、高等部のみ）です。

かかみがはら支援学校は、小・中・高一貫で、知的障がい、肢体不自由、病弱のある児童生徒を対象とする総合型の特別支援学校です。

新たな校名の「かかみがはら」には、分かりやすくひらがな表記にすることで誰もが親しみやすく、広く地域に発信される学校になってほしいという思いが込められています。また、「支援学校」には、「特別」と構えず、自然な支援が行われる学校であってほしいという市民の願いが込められています。